

(シラバスNo.5)

科目名	教育方法学特論 (学習科学特論)	科目コード	17P-S1	
			21P-S2	
	科目群名	基幹科目		
	Advanced Seminar on Educational Methods	必修/選択	(2017年カリキュラム) 必修 (2021年カリキュラム) 選択	
教職		小・中・高		
担当教員	仲 久徳	単位数	2	

【授業概要】

本科目は、授業を中心とした教育実践研究の土台となる教育方法学の基礎及び教材・授業設計の基礎について、最近の動向を踏まえて学びなおすこと、教材・授業設計の演習を通して教材・授業設計に必要な判断力、論理的な思考力、応用力の習得を目的とする。

内容は、前半では、教育方法学の基礎的事項（学習、授業、測定・評価、カリキュラム、授業研究）を扱い、後半では、教材・授業設計についての演習を行う。

授業は、担当教員の講義、受講者による発表、受講者及び担当教員とのディスカッションを通して進めていく。

【授業の到達目標】

教育方法学及び教材・授業設計の基礎と最近の動向を理解し、基本的な教材・授業設計ができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	基礎的事項についての講義
グループワーク・質疑	○	（受講者が多数の場合に実施）
演習	○	教材・授業設計についての演習
プレゼンテーション	○	事前課題についての発表と質疑
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	オリエンテーション
2	学習に関する理論①（個人をベースとした理論）
3	学習に関する理論②（集団をベースとした理論）
4	授業に関する理論①（習得をベースとした理論）
5	授業に関する理論②（変容・相互作用をベースとした理論）
6	評価・測定に関する理論①（評価に関する事項）
7	評価・測定に関する理論②（測定に関する事項）
8	カリキュラムに関する理論
9	授業研究に関する理論
10	教材・授業設計演習①（教材設計）
11	教材・授業設計演習②（授業展開、学習活動組織）
12	教材・授業設計演習③（目標設定、評価・測定方法）

13	教材・授業設計演習④（単元指導計画）
14	発表と討議
15	まとめ
試験	
<p>【履修上にあたっての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、課題を提示するので予習・復習の時間をしっかり確保しておくこと。（参考までに、法令では、2単位取得のためには60時間の予習・復習が必要と定められている。） 	
<p>【授業外学修（予習・復習）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習：毎回指示する事前課題に取り組む。 ・復習：授業時に指摘されたことに対して対応する。 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題提出または発表（45%）・科目修得試験（55%） 	
<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて資料を配布する。 	
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の際に適宜紹介する。 	